

令和2年度

事業報告書

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

「令和2年度事業報告」目次

概 況

〈事業活動〉

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業（公益目定事業1）

（1）浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業	1
（2）検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業	5
（3）不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業	5
（4）浄化槽の機能保証制度に関する事業	6
（5）浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業	6
（6）浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業	7
（7）浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業	9
（8）地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業	9
（9）その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業	10
（10）その他の事業	14

2 計量証明事業（収益事業1）

（1）計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業	16
（2）分析業務に関する講習会・研修会	16

3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業（収益事業2）

（1）浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業	16
（2）浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業	17
（3）その他前各号に関連する事業	18

4 管理部門

（1）法人運営（管理）に関する事業	18
（2）会員関係	20
（3）その他	20

5 附属明細書

.....	22
-------	----

令和2年度 事業の実施状況

令和2年の事業計画に基づき実施した事業は次のとおりである。

【公益目的事業1】

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業

(1) 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業 521,822千円

1) 令和2年度は、稼働人員36名体制で、92,750基（年間計画数91,000基に対し103.5%）を実施した。（P.57～P.65）

区 分	令和元年度 検 査 状 況	令和2年度 検 査 状 況	増 減
検査員数	35名	36名	1名
7条検査	2,734基 (25,355千円)	2,671基 (24,673千円)	△63基 (△682千円)
11条検査	86,882基 (480,964千円)	90,079基 (497,149千円)	3,197基 (16,185千円)
合 計	89,616基 (506,319千円)	92,750基 (521,822千円)	3,134基 (15,503千円)

11条検査については、平成22年から維持管理全体が適正かつ継続して実施できる一括契約を導入し、徳島県及び施工、保守点検、清掃関係者の支援のもと推進を始めた。その結果、令和2年度の検査数は計画対比103.7%の90,079基、昨年度比3,197基増と大幅に伸びた。受検率でも1.5ポイント増の60.7%まで向上し、センター設立50周年にして初めて60%を達成できた。引き続き関係団体との連携を強化し、適正な維持管理の推進ならびに受検率の向上を図りたい。

2) 法定検査の受検督促

法定検査の受検督促については、令和元年度の未受検者を対象とし、センターから受検指導を行った後に、各県民局長名による行政督促指導を行った。

受検指導にあたり、案内や電話と直接訪問にも取り組み、同一施設への度重なる受検勧奨を積極的に行ってきた結果、前年度比1,338基増となった。

前年度未受検 検査実施数：	令和元年度（6,809基）	
	令和2年度（8,147基）	1,338基

※次項の①、②の合計数以外に、受検文書通知を送付していない施設（電話勧奨のみ）の受検件数も含んでおります。

- ① センターからの受検指導文書通知後、電話アポインター（6名）や近隣施設の検査を担当する検査員によって受検指導を行った。その結果は次のとおりである。（P.66）

<センター受検指導>

管 轄	令和元年度		令和2年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	84,265	1,725(2.0%)	75,732	2,685(3.5%)	960
南部総合県民局	13,067	277(2.1%)	13,525	377(2.8%)	100
東部保健福祉局(吉野川)	24,779	874(3.5%)	13,416	311(2.3%)	▲563
西部総合県民局	11,464	267(2.3%)	11,866	353(3.0%)	86
合 計	133,575	3,143(2.4%)	114,539	3,726(3.3%)	583

- ② センターからの受検指導後も未受検の施設については、各県民局長名による督促指導を行った後、再度電話アポインターや近隣施設の検査を担当する検査員によって受検指導を行った。その結果は次の通りである。（P.66）

<行政からの文書指導（設置届出浄化槽）>

管 轄	令和元年度		令和2年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	46,246	1,285(2.8%)	46,049	1,690(3.7%)	405
南部総合県民局	9,143	430(4.8%)	9,315	525(5.6%)	95
東部保健福祉局(吉野川)	6,567	170(2.6%)	6,602	199(0.3%)	29
西部総合県民局	6,278	302(4.8%)	6,555	446(5.4%)	144
合 計	68,234	2,187(3.2%)	68,521	2,860(4.2%)	673

<行政からの文書指導（無届浄化槽）>

管 轄	令和元年度		令和2年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	7,236	287(4.0%)	8,151	364(4.5%)	77
南部総合県民局	812	42(5.2%)	765	36(4.7%)	△6
東部保健福祉局(吉野川)	1,724	48(2.8%)	1,672	64(3.8%)	16
西部総合県民局	1,353	66(4.9%)	1,372	87(6.3%)	21
合 計	11,125	443(4.0%)	11,960	551(4.6%)	108

- ③ センターからの受検指導通知・各県民局長名による督促指導通知に併せて行った電話アポインターの受検指導の実績は次のとおりである。（P.66）

なお、今期は1名増員したことに加え、職員同士の連帯感や説明等の営業スキルが向上し、その結果、前年度から連絡総数・申込数ともに増加した。

(連絡総数 +101.3%、申込数 +126.8%)

<u>電話アポインターによる受検指導</u>	電話連絡総数	73,569件
【内訳】	申込済み	4,585件(6.2%)
	未検査	64,648件(87.9%)
	休止・廃止	4,336件(5.9%)

- ④ 那賀町らくらくあんしん協議会は、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたことから、6月に予定していた第10回通常総会を延期し、9月に書面決議による総会を行い、前年度の実績報告・決算報告を行った。（P.67）

令和2年度の維持管理一括契約は、新規契約数が15件（総合計925件）となっているが、新規契約に対して高齢化に伴う施設への入所や、契約書の死亡などにより契約解除の件数も増加しているため、加入件数は5件減となった。

また、協議会加入の単独浄化槽については、浄化槽管理士特別認定制度による認定管理士によって297件の法定検査（一次検査）が行われた。

<開催事業>

(6月) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会 第10回通常総会 延期

(9月) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会 書面による上程議案の承認

浄化槽設置数(10人槽以下)：2,030基 維持管理一括契約数：925基(45.6%)

- ⑤ 神山市きれいな水づくり推進協議会は、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたことから、6月に予定していた第9回通常総会を延期し、9月に書面による上程議案の決裁を行い、前年度の実績報告・決算報告を行った。(P.68)

令和2年度の維持管理一括契約数は、新規約数が14件（総合計496件）となっている。

なお、神山市における協議会加入の単独浄化槽については、浄化槽管理士特別認定制度による認定管理士によって、201件の法定検査（一次検査）が実施された。

<開催事業>

(6月) 神山市きれいな水づくり推進協議会 第9回総会 延期

(9月) 神山市きれいな水づくり推進協議会 書面による上程議案の承認

浄化槽設置数(10人槽以下)：1,865基 維持管理一括契約数：496基(26.6%)

3) 浄化槽管理士特別認定制度

認定管理士に対し、1年（優良認定管理士は2年）ごとの更新講習を各地域ごとに開催し、一次検査における精度管理の説明や水質検査機器類のクロスチェックを行った。

また、認定管理士による一次検査の対象を単独から合併浄化槽に拡大するため、11月には当該制度の第1種認定講習会を開催し、那賀町・神山市の協議会で一次検査を行う認定管理士10名が受講した。この合併浄化槽の一次検査については、那賀町らくらくあんしん協議会・神山市きれいな水づくり推進協議会に加入する浄化槽を対象に初期導入する計画であり、両協議会で承認を受けた後、第1種特別認定管理士として合併浄化槽の一次検査を行う。

- 8月28日 第1回浄化槽管理士特別認定更新講習会（西部地区）（受講者 8名）
- 8月31日 第2回浄化槽管理士特別認定更新講習会（東部地区）（受講者10名）
- 9月23日 第3回浄化槽管理士特別認定更新講習会（東部地区）（受講者 7名）
- 9月23日 第4回浄化槽管理士特別認定更新講習会（東部地区）（受講者13名）
- 9月24日 第5回浄化槽管理士特別認定更新講習会（東部地区）（受講者11名）
- 11月12日 浄化槽管理士特別認定制度新規講習会（第1種認定）（受講者10名）
- 1月22日 浄化槽管理士特別認定制度新規講習会（第2種認定）（受講者 4名）

行政を主体とした浄化槽管理士特別認定制度審査委員会では、現在までのスクリーニング試験やクロスチェックといった信頼性確保への取り組みに対して行ってきた結果について報告を行い、運用状況面での承認を受けた。

12月09日 第14回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会

3月03日 第15回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会

【認定管理士・指定事業所（令和3年3月31日時点）】

認定管理士 - 67名、 指定事業所 - 28社

【認定管理士による一次検査実績（令和2年度）】

749件（那賀町-297件、神山町-201件、その他-251件）



管理士特別認定更新講習会(9/23)



管理士特別認定講習会第一種(11/12)

4) 一括契約協議会の推進

市町村単位に設立された一括契約協議会では、海部郡において役場広報誌や関係業者による推進活動が続けられており、僅かではあるが実績が出てきた。

実績の無い市町村については、実運用に取り組めるよう、一括契約加入時の事務取扱や推進方法について協議していく。

10月16日 海部郡浄化槽一括契約協議会 通常総会（第6回）

【設立済市町村】

三好市、海部郡(3町)、美馬市・つるぎ町（合同）、小松島市、勝浦町、上勝町、那賀町、神山町

5) 継続検査制度の推進

平成28年度から制度を開始した、「継続検査申込」であるが、「継続検査申込」の手続きが完了した施設について、センターから返信不要の「訪問予定日通知」を送付し、検査を実施している。

現時点では概ね良好に制度が推移しているが、一部で、転居して転売した施設や、契約者が死亡し、使用していない施設の検査が勝手に行われたとの苦情が寄せられるケースも出てきているため、可能な限り設置者と連絡を取り施設の状況を確認するよう対策を講じていきたい。

令和2年度3月末時点での「継続検査申込」の申込数は、23,887件にのぼっており、11条検査推進に効果を上げている。

6) 法定検査手数料口座振替の推進

法定検査手数料の支払い等の煩わしさを払拭するため、口座振替を推進し、顧客の固定化（継続した検査につながる）を図った。

推進には、法定検査訪問時にパンフレットの配布や手続き方法の説明を行うことにより、1,663件の口座振替の申込みを受け付けた。

3,200千円（徳島県委託事業）

(2) 検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業

1) 令和2年度は4支所で新設浄化槽2,533基(うち17基は取下げ届提出)の設置届出書及び計画書を受け付け、昨年度と比較し、2基増となった。一方では、検査実施後の指導による無届浄化槽の届出が101基あった。

また、「浄化槽維持管理標準契約書」(以下「標準契約書」という)については、申請に併せて2,295基分(前年度比10基増)の契約書を受け付けた。

7,500千円(徳島県委託事業)

その他の浄化槽に関する各種申請受付状況はP.69~P.71のとおりである。

2)「浄化槽台帳の整備」を目的に、郵便物が届かない浄化槽や連絡がつかない浄化槽に対して現地調査を行い、データ整備を行った。併せて、市町村からの提供資料(下水道台帳)を突合し、廃止届出書の提出が無い浄化槽の確認も行った。

5,000千円(浄化槽台帳補完調査事業)

現地調査対象件数:4,596基

下水道台帳により確認した廃止浄化槽:212件

(3) 不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業

1) 不適正浄化槽については、まず、検査結果書により改善を促し、さらに、改善報告のない浄化槽に対しては、関係行政機関(県水・環境課、県民局(福祉局)、土木、市町村)から文書による改善指導を行っている。令和2年度の関係行政機関からの改善指導はP.72のとおりである。

不適正と判定された浄化槽16,144基(指導項目総数16,710項目)に対し、改善指導を行った結果、令和2年度末までに、3,957項目の改善報告を受け付けた。

関係行政機関別の内訳は次のとおりである。

指導する関係行政機関	指導対象	主な指摘内容	指導件数	改善報告数	改善確認数
県水・環境課	保守点検業者	保守点検不備	7,862件	2,823(35.9%)	-
保健福祉局・県民局	浄化槽管理者	無管理等	7,635件	875(11.5%)	-
土木事務所・特定行政庁	浄化槽管理者	破損等	529件	152(28.7%)	116(21.9%)
市町村	清掃業者	清掃不備	684件	107(15.6%)	-
合計			16,710件	3,957(23.7%)	

※破損等(土木事務所指導分)の改善報告については、再度現場にて改善確認を行っている。

改善報告率は年度末分途中のため低い数値であるが、最終的には25%程度の数値となると思われる。

2) 浄化槽技術検討委員会では、水質改善に関する調査研究対象として、不適正浄化槽の中から水質が悪化している浄化槽で、且つ原因が不明なものを選び、保守点検業者等と連携を図りつつ二次検査の実施を行っている。

実施件数及び結果は下記のとおりであり、結果については設置者・保守点検業者に連絡済である。

<浄化槽技術検討委員会の開催>

7/3、9/3、10/29、10/30、12/21、2/24

水質悪化原因	件数	二次検査内容
嫌気ろ材の目詰まりによる	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
送風機の圧力不足による	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
生物膜の肥厚化及びデフラグ-の目詰まり	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
間欠定量移送装置の不具合	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)

エアリフホップの詰まりによる循環停止	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
循環装置の調整不良による	4件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
間欠定量装置及び循環水量の調整不良	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
合 計	10件	

3) (公財) 日本環境整備教育センターからの委託により、調査対象として選定された浄化槽が、全国浄化槽推進市町村協議会の浄化槽設置整備事業における国庫補助指針に適合した浄化槽かどうかの現地調査を行った 132千円

(4) 浄化槽の機能保証制度に関する事業 2,543千円 (機能保証登録料)

令和2年度は全浄連が行う機能保証制度の登録申請書981基(取下除く)を受付したが、新型コロナウイルスの影響による新規住宅着工件数が18.2%減(2月末時点)と大きく減少したことが影響し、昨年比△91基の減少となった。(P.73)

	令和元年度		令和2年度		前年度対比	
	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ
書類申請	919基	16基	856基	17基	▲63基減	▲1基減
電子申請	177基	8基	145基	3基	▲32基減	▲5基減
合 計	1,096基	24基	1,001基	20基	▲95基減	▲4基減

なお、令和2年度は機能保証制度利用申請が1件あった。

【機能保証の申立】・・・1件

保証申立日	地 域	状 況	結 果
令和2年 9月23日	阿南市 (H29.4使用開始)	保守点検実施時に担体流動槽の漏水を確認。	機能保証制度地方審査委員会で「原因者が特定できない瑕疵が発生した場合」として保証の対象とすることを決定。

(5) 浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業

- ① 4支所窓口において、来所する設置者や業者を対象に専門的な知識を持っている職員が浄化槽の適正な施工や維持管理等に関する相談に随時対応した。
- ② インターネットによるホームページを活用し、浄化槽のしくみや正しい知識に関する情報を適時に掲載し、浄化槽の適正な施工及び維持管理の普及啓発に努めた。
- ③ 県の委託事業である、浄化槽関係書類の受付業務については、届出された設置届出書等の内容を審査し、浄化槽設置者データを登録、設置者には受理通知書を送付した。
- ④ 設置届けに添付が義務づけられた「標準契約書」については、50人槽以下の浄化槽全ての添付を確認し、維持管理を行う業者には契約手続き完了の通知を行った。
- ⑤ 申請のあった浄化槽管理者に対し、7条及び11条検査の申込書、設置届出書(又は計画書)及び、標準契約書(50人槽以下)もしくは検査誓約書・契約書(51人槽以上)の控えや検査料払込証明書、設置情報確認書などを発行又は送付した。
- ⑥ 令和2年度の委託事業である下記市町の設置確認検査及び事前審査は次のとおりである。徳島市は令和元年度から新設浄化槽の設置補助を廃止しているが、設置確認検査業務の昨年度実績には年度繰り越し分が含まれていたため、今回の対比で大きく減少する結果となった。なお、東みよし町は、(株)東みよし浄化槽整備の委託によるPFI事業で設置された浄化槽の中間・完了検査業務であるが、実績は順調に推移している。

864千円

市 町 村	事業内容	令和元年度	令和2年度	前年度対比
徳島市	設置事前検査業務	45基	71基	26基
	設置確認検査業務	418基	56基	▲362基
東みよし町	中間検査業務	20基	51基	31基
	完了検査業務	15基	48基	33基

(6) 浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業

①新しく浄化槽の設置届出手続きをした方を対象に浄化槽教室を開催し、受講者には受講証明書を発行した。また、市町村担当課には、受講者台帳を送付した。(P.74)

当初の計画では、合計35会場の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、6月末までの開催分(7会場)を中止し、その代替措置として、インターネット環境で受講できるWEB教室を開設し、受講機会の確保に努めた。その結果、令和2年度の受講者数は1,668名、受講率78.2%になり、前年度比で22.8%増加した。

この教室は、浄化槽に関する知識を習得し、適正な維持管理に繋げるための研修機会として、非常に有効なものである。令和3年度はWEB教室の構成内容をさらに充実させて、今後はその効果を検証していきたい。

	令和元年度	令和2年度	差 異
対 象 数	2,263基	2,133基	▲130基
開 催 回 数	36回	28回	▲8回
受 講 者 数 (内訳)	1,253 (55.4%)	1,668名 (78.2%)	415名
会場受講	1,253名 (55.4%)	265名 (7.3%)	▲988名
WEB受講	—	1,403名 (65.8%)	1,403名

※対象数(申請数)には、未着工、未完成分も含まれています。





WEB教室 オープニング画面

②年度を区切りとして、各市町村の浄化槽担当者が交代するため、行政担当者を対象にセンター主催で「浄化槽担当者説明会」を実施し、浄化槽に関する各種情報を提供した。

- 日 程 : 令和2年8月6日
 開催場所 : 徳島県立総合福祉センター 401会議室
 出席人数 : 市町村行政関係者23名
 内 容 :
- ・浄化槽関係法令の基礎と浄化槽法の一部改正について
 - ・7条検査の結果から見た工事の注意点及び不適正事例
 - ・情報提供①法定検査実施状況等について
 - ・情報提供②徳島県事務取扱要領の改正について



市町村浄化槽担当者説明会(8/6)

③令和2年4月1日の浄化槽法改正に伴い、「徳島県浄化槽保守点検業者登録条例」が改正され、浄化槽保守点検業者登録する浄化槽管理士に対し、知事が指定する研修会を登録の有効期間内(3年)に1回以上受けることが義務付けられた。

この研修会の実施にあたり、当センターが県から指定を受けたため、令和2年度は2回の浄化槽管理士研修を実施した。 **680千円**

- 開催日程 : 第1回 11月25日(91名申込－91名受講)
 第2回 2月26日(78名申込－77名受講)
 開催場所 : 県郷土文化会館あわぎんホール
 内 容 : **【浄化槽管理士の研修プログラム】**
- <全国共通枠>
- I 浄化槽行政の動向
 - II 浄化槽の構造と機能
 - III 浄化槽の保守点検と清掃
- 講師 : (公財) 日本環境整備教育センター
 講習事業グループ浄化槽設備士講習
 担当チームリーダー 榎田 陽明 氏
- <地方枠>
- IV 地域における浄化槽情報
 - (1) 浄化槽に関する施策転換と普及状況について

講師：徳島県県土整備部水・環境課

主任主事 長垣 克彦 氏

(2) 浄化槽の管理技術情報と法定検査の結果について

講師：(公社) 徳島県環境技術センター

事業推進課長 西岡 卓馬



管理士研修会 (11/25)



管理士研修会 (2/26)

(7) 浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業

- 1) 各市町村が行う補助事業の補助額や必要書類についての調査を行い、その情報を取り纏めて一覧表を作成し、関係者に配布した。
- 2) 浄化槽に関する最新情報や浄化槽に関する各種データ等を載せた月刊機関誌「みどり」を発行し、各行政機関等へ配布するとともに、当法人の4支所にも備え置き、一般の方にも提供、同時にインターネットのホームページにも掲載した。
- 3) 浄化槽に関する最新情報を提供するため、全浄連が作成発行している、「全浄連ニュース」を各関係機関に無償配布した。

(8) 地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業

- 1) 徳島市の委託事業である、合併浄化槽転換推進事業では、検査員が単独浄化槽の設置者に対し、合併浄化槽のパンフレットを配布又は利点を説明し、合併浄化槽への転換を勧めた。但し、毎年ほぼ同じ設置者に対し推進しており、効果の低下が懸念されるため、配布・説明対象とその方法・内容等について、市と再度協議を行いたい。

384千円(徳島市浄化槽転換促進事業)

転換推進啓発内容	令和元年度	令和2年度	前年度対比
パンフレット配布業務	5,986件	5,312基	▲674基
合併への転換説明業務	998件	1,531基	533基
啓発数計	6,954件	6,843基	▲111基

<参考 徳島市設置事前検査における設置・転換状況>

	～25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	累計
設置	5,357	584	577	637	563	574	0	0	8,292
転換	674	64	68	51	49	44	45	71	1,066

転換啓発用パンフレット
(徳島市)



2) センターが受付窓口を行う二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型大型浄化槽導入推進事業)交付事業について、令和2年度は8件の申請を受け付けた(詳細下記)。

<申請受付状況>

- (TYPE1) : 51 人槽以上の既設合併処理浄化槽に付帯する機械設備等の改修・導入事業
 受付件数 8 件
 補助金申請額 27,457,000 円
- (TYPE2) : 旧構造基準及び新構造基準の浄化槽(ブロワを使用するものに限る)のうち60人槽以上の合併処理浄化槽に係る本体交換事業
 受付件数 0 件

(9) その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業

① 「みなみから届ける環づくり会議」への参加

企業、民間団体、研究機関、行政などの15団体と3名の研究者が、県南で環境課題の解決を目標に活動している産学官民の協働体である。当センター担当者は幹事として参画し、各種イベントの開催について協議を行ってきた。

【会議への参加】

- 6月30日 みなみから届ける環づくり会議 総会・幹事会
- 7月13日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議
- 12月10日 みなみから届ける環づくり会議第3回水質WG

② 学校教育において、環境学習に熱心に取り組んでいる学校を対象に、出前講座を行い、科学実験などを通して水の大切さを学んでもらう活動を行った。

また、学校以外に、各地域で取り組む環境保全活動において、講師として招かれ、水環境保全や浄化槽についての講演を行った。

(小学校-20回 計20回)

【環境学習への取り組み】

- | | | | |
|-------|------------|-------|------------|
| 6月24日 | 那賀町立鷺敷小学校 | 6月29日 | 阿南市立横見小学校 |
| 6月30日 | 阿南市立津乃峰小学校 | 7月1日 | 徳島市立八万南小学校 |
| 7月6日 | 徳島市立川内南小学校 | 7月9日 | 阿波市立久勝小学校 |
| 7月13日 | 三好市立玉地小学校 | 7月17日 | 三好市立池田小学校 |
| 7月21日 | 阿南市立宝田小学校 | 7月27日 | 美馬市立岩倉小学校 |
| 7月30日 | 板野町立板野南小学校 | 8月3日 | 海洋町立穴喰小学校 |
| 8月4日 | 三好市立吾橋小学校 | 8月5日 | 阿南市立新野小学校 |
| 8月25日 | 徳島市立加茂名小学校 | 8月28日 | 美馬市立穴吹小学校 |
| 9月1日 | 上板町立松島小学校 | 9月8日 | 徳島市立上八万小学校 |
| 9月18日 | 石井町立藍畑小学校 | 9月28日 | 吉野川市高越小学校 |



鷺敷小学校 (6/24)



横見小学校 (6/29)



津乃峰小学校 (6/30)



八万南小学校 (7/1)



川内南小学校 (7/6)



久勝小学校 (7/9)



王地小学校 (7/13)



池田小学校 (7/17)



宝田小学校 (7/21)



岩倉小学校 (7/27)



板野南小学校 (7/30)



宍喰小学校 (8/3)



吾橋小学校 (8/4)



新野小学校 (8/5)



加茂名小学校 (8/25)



穴吹小学校 (8/28)



松島小学校 (9/1)



上八万小学校 (9/8)



藍畑小学校 (9/18)



高越小学校 (9/28)

③ 「浄化槽の日」ポスターコンクールの開催

未来を担うこどもたちに、水の大切さを知ってもらうため夏休み課題のポスターを募集した。今年度は101作品の応募があり、9月24日に優秀作品を選考し、11月26日には徳島県知事による表彰状の授与式を行った。

尚、優秀作品については、県庁および東部保健福祉局などで一般公開したほか、令和3年度のカレンダーに活用し、小中学校に配布した。

- 7月～8月末 県内小中等学校へ作品の募集
- 9月 応募締切 (101作品)
- 9月24日 応募作品審査会 (応募101点 最優秀-2点、優秀-6点、佳作-20点)
- 11月26日 徳島グランヴィリオホテルにて優秀作品表彰式
- 12月～3月 徳島県庁、東部保健福祉局 (徳島保健所)、徳島県総合教育センター、(株)ハウステックショールームにて優秀作品の展示

令和2年度「浄化槽の日」ポスターコンクール



(小学校の部最優秀作品)



(中学校の部最優秀作品)



表彰式で知事と記念撮影

④ 「水すまし隊」による活動

県内のこどもたちに「水の大切さ」や「環境を守っていくこと」の重要性を知ってもらうため、センターの若手職員が県内の各種イベントに参加した。

- 8月 2日 あすたむらんど「水の日イベント～竹のてっぽうで花に水やりを～」
手作りの竹の水鉄砲やペットボトルじょうろを用いて、ため池の水を花壇に散水し、水の循環について学んでもらった。
- 11月7日、8日 あすたむらんど「サイエンスフェア2020」
「クリアファイルが大変身 ～マスクケースを作ろう～」と題して、クリアファイルを再利用したエコ工作を行った。
- 11月28日 11月エコみらいとくしまイベント
牛乳パックを使いアドベントカレンダーを作るエコ工作イベントを開催した。



「水の日イベント」(8/2)



「サイエンスフェア2020」(11/7)



「エコみらいとくしまイベント」(11/28)

感染症拡大予防のため中止となった事業

- 4月 5日 津田地区「六右衛門祭り」
- 4月26日 地球を守る日フェスティバル
- 6月14日 あすたむらんど「環境月間イベント」
- 10月25日 阿南市こともフェスティバル
- 11月28日、29日 青少年のための科学の祭典 徳島大会

⑤ 清掃活動

徳島市パークアドプト清掃活動に参加し、津田海岸町の公園で除草や清掃を実施し、地域の美しい憩いの場を確保した。

活動実施日：5月29日、7月22日、11月27日、2月12日

パークアドプト清掃活動



(7/22)



(11/27)

⑥ 「リフレッシュ瀬戸内」への活動参加

国、県、市町村等関係機関で構成する瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会の事業であり、センターも積極的に協力している。

5月25日 金磯海岸水質検査の実施

センターの協賛事業として横須金磯海岸付近の水質検査を実施し、分析結果の報告を行った。(清掃ボランティア活動は中止となった。)



金磯海岸水質検査(5/25)

⑦ CSR活動報告について

ホームページ上に上記活動をCSR活動報告として公開した。

URL : <https://www.tokushima-env.jp/contents/csr/index.html>

(10) その他の事業

①職員の技術向上を徹底するため、積極的に研修会・講習会に参加し、能力・知識の向上に努めた。

5月27日	ハウステックKRS型浄化槽 製品説明会 (リモート研修)
8月12日	低圧電気取扱者安全衛生特別教育講習会 13名 (講師：四国電気保安協会 徳島支部)
10月1日	安全運転管理者講習
10月12日	ハウステックKRS型浄化槽 維持管理講習会 (リモート研修)
12月7日、18日	コンプライアンス研修
2月8日	副安全運転管理者講習
3月5日	公益法人運営研修会 (徳島県主催)

センターでは、プライバシーマーク認定により、作成した個人情報保護マネジメントシステムに基づいた体制で業務を行い、月1回のEラーニングによる社員教育の実施等によって、その精度を上げている。

また、7月27日にプライバシーマークの更新審査が行われ、センターの取り組みに「付与適格」との判定を受けた。



7月27日	プライバシーマーク付与適格性更新審査
3月4日	プライバシーマーク内部監査

また、同様に認証を受けているエコアクション21についてもマネジメントシステムを遵守しながら、廃棄物排出量や節電等、環境への取り組みを行っている。10月には更新審査を行い、その結果「適合」と認められた。

4月27日、7月30日、12月9日	エコアクション21推進会議
10月29日	エコアクション21更新審査



②開催・出席の主な会議等

<全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会>

- 7月 8日 全浄連・検査機関四国地区協議会 事務局引継ぎ（香川県）
- 7月30日 高知県浄化槽協会・高知県環境検査センター訪問（高知県）
- 2月 4日 全浄連・検査機関四国地区協議会 会長会議（テレビ会議）

感染症拡大予防のため中止となった事業

- 4月10日 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会総会
※書面決議にて対応
- 9月17日～18日 検査機関四国地区協議会検査員研修会（徳島）

【収益事業1】

2 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業

(1) 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業 39,268千円(計量証明手数料)

- ①濃度計量証明事業として特定事業場排水の分析を主に水質分析を実施した。
令和2年度の証明件数は2,992件で売上げは39,268千円であった。
(前年度比 売上額:5,417千円増) (P.75)

(2) 分析業務に関する講習会・研修会・会議等

内部研修として、当センターにて計量証明事業規程細則に基づく研修を実施した。

<内部研修>

3月31日 計量証明事業規程細則10.3に基づく研修会

また、外部機関が開催する下記研修等に参加し、能力・知識の向上に務めた。

<研修会等の参加状況>

1月26日 環境計量証明事業者クロスチェック事業結果検討会

<BOD測定機器更新に関する視察>

7月8日 香川県浄化槽協会へBOD測定機器の視察

【収益事業2】

3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業

(1) 浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業

1) 講習会・研修会の開催

①センター主催による浄化槽技術者講習会の開催

事業所の社員を対象に、高い技術力を持った資格者を育てるための講習会(浄化槽技術者講習)を開催し、併せて最新機器の展示も行った。

日 程 : 令和3年3月5日(金)

開催場所 : 徳島グランヴィリオホテル

出席人数 : 42名

内 容 : ・「事業継続力強化計画対策セミナー」

講師: MS&DS インターリスク総研株式会社

関西支店 災害・事業RMグループ

上席コンサルタント 尾池 吉保氏

・「高度処理型浄化槽 XH 型の構造及び維持管理について」

講師: 株式会社ダイキアクシス

福田 涼介氏



浄化槽技術講習会(3/5)

②会員従業員の資格取得の支援

会員従業員の資格取得に関する試験対策講座を一部中止したが、緊急事態宣言全面解除後は計画した講習会を開催した。

<講習会>

- ①浄化槽設備士「試験対策講座」 (6/5～6/6) ※中止
- ②第2種電気工事士講習会 筆記試験対策講座 (9/4～9/5)
- 実技試験対策講座 (10/24～10/25)

③浄化槽技術管理者講習の開催 378千円

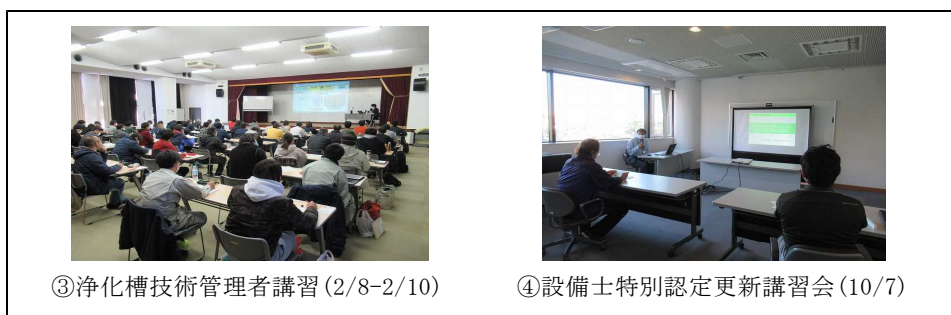
(公財)日本環境整備教育センターからの委託により、下記スケジュールにて浄化槽技術管理者講習を実施した。なお、当初予定していた浄化槽管理士講習については、感染症拡大予防のため、開催を中止とした。

- 6月7日～6月19日 浄化槽管理士講習 ※中止
- 2月8日～2月10日 浄化槽技術管理者講習
(受講者56名 修了者53名 修了率94.6%)

④浄化槽設備士特別認定更新講習の開催

浄化槽設備士の技術の向上を目的とした浄化槽設備士特別認定制度では、5年目の更新を対象とした更新講習会を開催し、6名の特別認定設備士が受講した。

- 10月7日 浄化槽設備士特別認定更新講習会 (西部会場) 2名受講
- 10月14日 浄化槽設備士特別認定更新講習会 (南部会場) 2名受講
- 10月28日 浄化槽設備士特別認定更新講習会 (徳島会場) 2名受講



③浄化槽技術管理者講習(2/8-2/10)

④設備士特別認定更新講習会(10/7)

(2) 浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業

1) 昨年度に引き続き保証登録申請の電子申請を行った。

保証登録申請書の電子申請によって、浄化槽工事業者に対する申請から登録証明書発行までの事務の効率化により、期間が短縮された。

2) 令和2年度のプレキャストコンクリート底板(PC底板)の売上は9,555千円であった。(昨年度比 ▲582千円)

また、販売する底板の品質を十分確保するため、定期的に製造工場で検品を行っている。

9,555千円

PC底板製品検査 4/10、5/12、6/12、7/21、9/28、11/19、11/26、2/25

底板等種類	販売数量	売上金額
5人槽(1枚もの)	386枚	6,019千円
5人槽(2分割)	2枚	44千円
7人槽(1枚もの)	149枚	3,064千円
7人槽(2分割)	6枚	140千円
ブロワ台	123台	198千円

(3) その他前各号に関連する事業

各種用紙及び物品等の販売事業

区分	品名	数量	金額
各種用紙 書籍販売	浄化槽設置届出書・計画書	2,768 部	553 千円
	標準契約書	2,241 部	448 千円
	浄化槽変更計画書・変更届出書	142 部	28 千円
	標準保守点検記録票	2,473 部	1,565 千円
	標準清掃記録票	258 部	129 千円
	構造審査申請書	18 部	18 千円
	工事業・特例工事業申請書	4 部	2 千円
	保守点検業登録申請書	14 部	7 千円
	浄化槽処理対象人員・汚水算定要領	4 部	4 千円
	その他	7 部	2 千円
機器販売	鍵付万能フック (30cm)	1,272 本	1,704 千円
	鍵付万能フック (44cm)	714 本	1,261 千円
	その他	—	96 千円

【その他の事業】

4 管理部門 (法人)

(1) 法人運営に関する事業

1) 監査・総会の開催

【会計・業務監査】

4月22日

令和元年度の会計監査・業務監査を行った。

10月27日

令和2年度上半期の会計監査・業務監査を行った。

【定時社員総会】

5月27日

第10回定時社員総会を開催し、令和元年度の事業報告・決算報告並びに、理事（10名）及び監事（2名）の選任を行った。



会計及び業務監査(4/22)



第10回定時社員総会(5/27)

2) 常任理事会・理事会の開催

センターの運営にかかる議題をもとに常任理事会・理事会を開催した。

・常任理事会（11回）、理事会（12回）



第 1 回理事会 (4/30)



第 1 2 回理事会 (3/29)

3) 所属部会の開催

所属部会は、感染症拡大予防のため開催を控え、周知・連絡事項については、必要に応じて文書通知を行った。

3月には、メーカー部会から選出された理事が異動となったため、急遽メーカー部会を開催し、欠員補充のための理事候補者を選出した。

3月 3日 メーカー部会

4) 全浄連関係会議

4月28日 全浄連事務局長会議のテレビ会議に出席した。

5月22日 全浄連第31回理事会のテレビ会議に出席した。

6月26日 全浄連第8回定時総会、第27回理事会のテレビ会議に出席し、役員を選定を行った。

7月17日 全浄連第2回正副会長会議のテレビ会議に出席した。

9月 4日 全浄連第1回検査委員会のテレビ会議に出席した。

9月10日 全浄連第3回正副会長会議のテレビ会議に出席した。

9月24日 第33回全浄連理事会（書面）では評議員の推薦と臨時総会の招集について評決を行った。

10月13日 全浄連第1回保守・清掃委員会のテレビ会議に出席した。

10月16日 全浄連臨時総会（書面）では、理事1名の補欠選任について評決を行った。

11月18日 全浄連第4回正副会長会議、浄化槽推進議員連盟総会・懇話会に出席した。

3月 5日 全浄連第5回正副会長会議のテレビ会議に出席した。

3月23日 全浄連第34回理事会のテレビ会議に出席した。

3月25日 全浄連第2回検査委員会のテレビ会議に出席した。

(感染症拡大予防のため中止となった事業)

10月 1日 第34回全国浄化槽大会

3月1日、2日 全浄連会員団体事務局長会議

(2) 会員関係

令和2年度は2社の会員が退会した。

<会員の入・退会状況>

令和3年3月31日現在

地 区	会員数	入会会員	退会会員	差引会員数	備 考
徳 島	60社	0社	0社	60社	
鳴 門	10社	0社	0社	10社	
小 松 島	12社	0社	1社	11社	
阿 南	18社	0社	1社	17社	
海 部	7社	0社	0社	7社	
阿 北	8社	0社	0社	8社	
美 馬	11社	0社	0社	11社	
三 好	23社	0社	0社	23社	
メーカー	12社	0社	0社	12社	
合 計	161社	0社	2社	159社	

<会員の入・退会状況>

地 区	会 員 名	代 表 者	退会日	部 会
阿 南	平坂水道	平坂 公一	R02. 5. 14	施 工
小 松 島	椎平建設(有)	椎平 重信	R02. 6. 01	施 工

<会員内訳>

地 区		施 工	保守点検	清 掃	合 計
東 部	徳 島	28社(1)	23社(1)	12社(1)	63社(3)
	鳴 門	8社	2社	0社	10社
	小 松 島	7社	1社	3社	11社
	阿 北	3社	0社	5社	8社
南 部	阿 南	14社	3社(2)	2社	19社(2)
	海 部	3社	3社	1社	7社
西 部	美 馬	8社	1社	2社	11社
	三 好	17社	5社	1社	23社
メーカー					12社
合 計		88社(1)	38社(3)	26社(1)	164社(5)

※複数部会所属会員はそれぞれ部会毎に1社として計算している。
カッコ内の数字は複数部会に所属する会員数

(3) その他

1) 許認可に関する事項

- 1) 徳島県告示第255号浄化槽法に基づく法定検査機関の指定（昭和62年3月27日）
- 2) 計量証明事業登録（平成12年12月14日 第74号）
- 3) 建築物飲料水水質検査事業（平成26年2月17日 徳島県東保26水 第1号）

2) 変更認定申請書

役員変更に伴う変更届出書を提出（令和3年3月29日）

3) 役員等に関する事項

(令和3年3月31日現在)

役 職	氏 名	勤務体系	所 属 および 役 職
会 長	田村 茂人	非常勤	豊栄設備工業(株) 代表取締役
副 会 長	加統 叙男	非常勤	(株)ハウステック 所長
〃	井内 孝明	非常勤	(有)井内開発 代表取締役
専務理事	柰保 恭章	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局長
常任理事	森 玄徳	非常勤	(有)森清浄社 代表取締役
理 事	高尾 武司	非常勤	(株)ユニペック 代表取締役
〃	岩本 英司	非常勤	(株)岩本総業 代表取締役
〃	林 哲郎	非常勤	毎日衛生(有) 代表取締役
〃	三好 一生	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局次長
監 事	長地 孝夫	非常勤	公認会計士 長地孝夫事務所 公認会計士
〃	志摩 恭臣	非常勤	朝田啓祐法律事務所 弁護士

4) 職員に関する事項

(令和3年3月31日現在)

職 員 数	入 社	退 社	平均年齢	平均勤続年数
男性	51名	5名	44.0才	14.8年
女性	23名	1名	43.5才	14.5年
合計又は平均	74名	6名	43.8才	14.7年

5) 法令遵守に関する事項

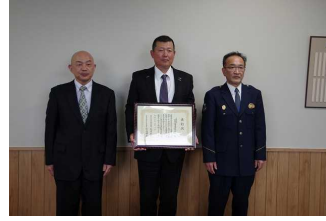
①交通事故

交通事故の発生を抑止するための措置として、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入しているが、未だ不注意による事故を根絶できていない。そこで、一定以上の事故を起こした職員には教習所での安全運転講習の受講を義務づけ、対象者6名に受講させた。

事 故 内 容		R1年度	R2年度	前年対比
物損事故	任意保険対象外事故	10件	4件	▲6
	任意保険適用事故	2件	7件	+5
人 身 事 故		1件	1件	0
合 計		13件	12件	▲1

3月 1日 徳島中央警察署にて「優秀安全運転事業所」として表彰（銅賞）を受けました。

※銅賞：過去1年間に人身事故件数が全対象者の2%以下、および交通違反件数が全対象者の7%以下の事業所が該当となります。



優秀安全事業所表彰受賞（3/1）

②個人情報保護

個人情報の不適切な管理を防ぐため、個人情報保護マネジメントシステムに基づき業務を行っている。

- ・個人情報保護に関する事故
なし

③労務管理上の事故

安全衛生委員会を毎月開催し、労務上の事故防止や職員の健康管理について協議し職員周知・研修等を行った。

- ・労災申請件数（2件：虫刺され）
（前年度： 2件）

5 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。